

# 総務委員会説明資料

## 《報告事項》

- |  |                   |
|--|-------------------|
| (1) 令和元年度収支状況について                              | 【資料1】 . . . . . 1 |
| (2) 令和元年度診療状況について                              | 【資料2】 . . . . . 2 |
| (3) 令和元年度アクションプランについて                          | 【資料3】 . . . . . 5 |
| (4) 働き方改革の推進について                               | 【資料4】 . . . . . 8 |
| (5) 南和地域における地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療の<br>推進の取組について | 【資料5】 . . . . . 9 |
| (6) その他 はびねすだより第13号について                        | 別冊子               |
| 全国自治体病院学会in奈良について                              | 別冊子               |

# 令和元年度 南和広域医療企業団 収益的収支状況について

(4月～8月)

資料 1

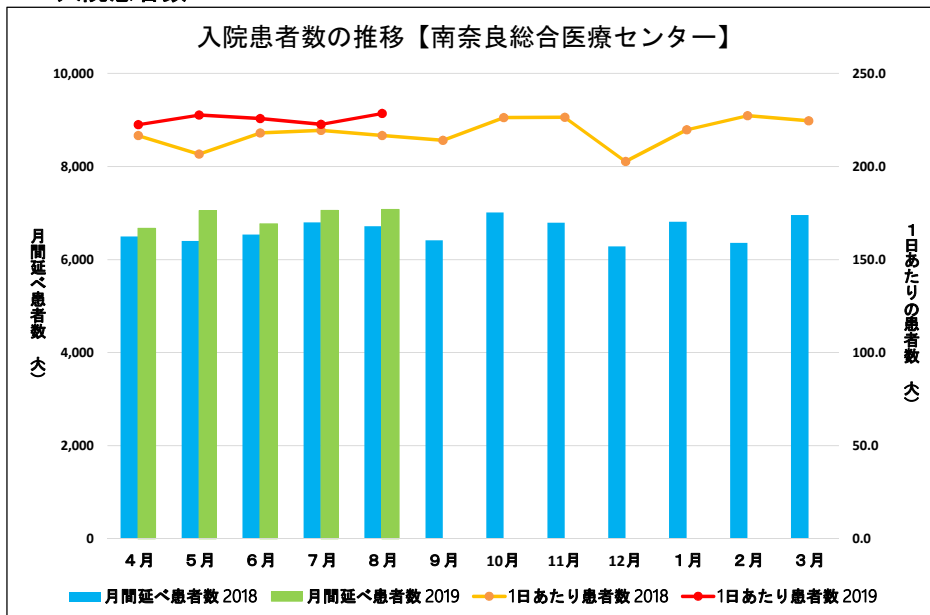
(令和元年度4月～8月)

(単位:千円)

	南奈良総合医療センター			吉野病院			五條病院			企業団計		
	令和元年度	平成30年度	増減額	令和元年度	平成30年度	増減額	令和元年度	平成30年度	増減額	令和元年度	平成30年度	増減額
病院事業収益	3,354,173	3,246,997	107,176	456,829	496,168	▲ 39,339	371,547	294,317	77,230	4,182,549	4,037,482	145,067
医業収益	2,721,665	2,607,736	113,929	395,120	439,833	▲ 44,713	276,960	207,392	69,568	3,393,745	3,254,961	138,784
入院収益	1,744,197	1,654,604	89,593	275,987	254,422	21,565	209,645	154,094	55,551	2,229,829	2,063,120	166,709
外来収益	774,116	711,723	62,393	74,066	139,669	▲ 65,603	39,360	33,373	5,987	887,542	884,765	2,777
その他医業収益	87,927	84,664	3,263	14,637	15,627	▲ 990	7,530	5,745	1,785	110,094	106,036	4,058
県補助金	15,075	56,395	▲ 41,320	115	115	0	115	115	0	15,305	56,625	▲ 41,320
他会計負担金	100,350	100,350	0	30,315	30,000	315	20,310	14,065	6,245	150,975	144,415	6,560
医業外収益	582,123	586,205	▲ 4,082	61,709	56,335	5,374	94,587	86,925	7,662	738,419	729,465	8,954
他会計負担金	122,535	130,030	▲ 7,495	36,230	29,510	6,720	24,640	17,995	6,645	183,405	177,535	5,870
長期前受金戻入	444,075	435,410	8,665	25,125	25,330	▲ 205	69,580	68,355	1,225	538,780	529,095	9,685
その他医業外収益	15,513	20,765	▲ 5,252	354	1,495	▲ 1,141	367	575	▲ 208	16,234	22,835	▲ 6,601
看護師養成事業収益	50,385	53,056	▲ 2,671	0	0	0	0	0	0	50,385	53,056	▲ 2,671
病院事業費用	3,351,174	3,224,297	126,877	420,397	468,791	▲ 48,394	397,128	379,724	17,404	4,168,699	4,072,812	95,887
医業費用	3,259,532	3,134,128	125,404	420,397	468,791	▲ 48,394	397,128	379,724	17,404	4,077,057	3,982,643	94,414
給与費	1,557,464	1,551,368	6,096	251,187	237,011	14,176	195,733	185,643	10,090	2,004,384	1,974,022	30,362
材料費	584,628	544,721	39,907	31,212	101,275	▲ 70,063	26,617	30,042	▲ 3,425	642,457	676,038	▲ 33,581
経費	664,726	585,121	79,605	108,198	101,232	6,966	76,210	65,624	10,586	849,134	751,977	97,157
減価償却費	446,665	444,140	2,525	29,670	29,130	540	98,540	98,360	180	574,875	571,630	3,245
研究研修費	6,049	8,778	▲ 2,729	130	143	▲ 13	28	55	▲ 27	6,207	8,976	▲ 2,769
医業外費用	50,305	50,335	▲ 30	0	0	0	0	0	0	50,305	50,335	▲ 30
うち長期前払消費税償却費	31,490	30,885	605	0	0	0	0	0	0	31,490	30,885	605
看護師養成事業費用	41,337	39,834	1,503	0	0	0	0	0	0	41,337	39,834	1,503
経常損益	2,999	22,700	▲ 19,701	36,432	27,377	9,055	▲ 25,581	▲ 85,407	59,826	13,850	▲ 35,330	49,180
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	117	269	▲ 152	12	63	▲ 51	3	8	▲ 5	132	340	▲ 208
純損益	2,882	22,431	▲ 19,549	36,420	27,314	9,106	▲ 25,584	▲ 85,415	59,831	13,718	▲ 35,670	49,388
キャッシュフロー	36,962	62,046	▲ 25,084	40,965	31,114	9,851	3,376	▲ 55,410	58,786	81,303	37,750	43,553
県借入金返還金	20,995	20,995	0	0	0	0	1,410	0	1,410	22,405	20,995	1,410
県借入金返還後キャッシュフロー	15,967	41,051	▲ 25,084	40,965	31,114	9,851	1,966	▲ 55,410	57,376	58,898	16,755	42,143

1. 南奈良総合医療センター

1-1.入院患者数

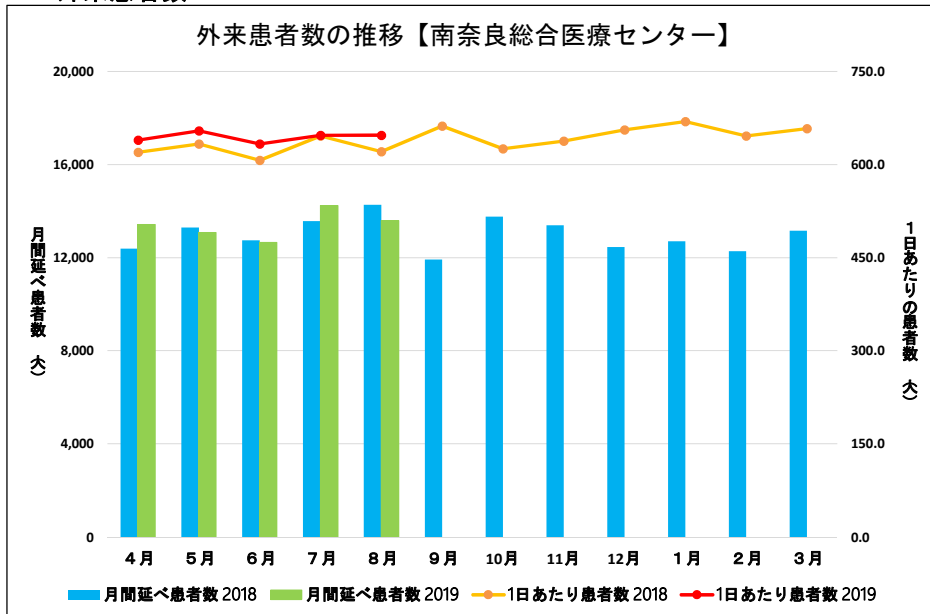


南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 6,498	6,406	6,539	6,800	6,716	6,419	7,015	6,792	6,286	6,813	6,364	6,961
	2019 6,674	7,055	6,773	7,059	7,084	214.0	226.3	226.4	202.8	219.8	227.3	224.5
1日あたり患者数	2018 216.6	206.6	218.0	219.4	216.6	214.0	226.3	226.4	202.8	219.8	227.3	224.5
	2019 222.5	227.6	225.8	222.7	228.5							

4～8月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	32,959	34,645	1,686
病床稼働率(%)	92.9	97.6	4.7
診療単価(円)	50,202	50,345	143
平均在院日数(日)	13.3	13.2	-0.1

1-2.外来患者数



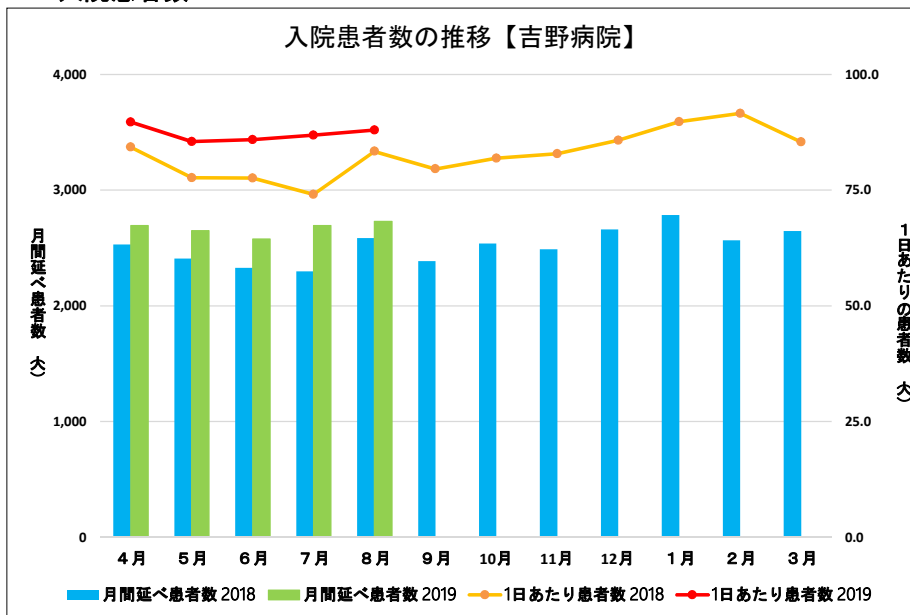
南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 12,398	13,299	12,753	13,571	14,278	11,920	13,769	13,402	12,464	12,716	12,290	13,159
	2019 13,435	13,092	12,665	14,238	13,598	662.2	625.9	638.2	656.0	669.3	646.3	658.0
1日あたり患者数	2018 619.9	633.3	607.3	646.2	620.8	662.2	625.9	638.2	656.0	669.3	646.3	658.0
	2019 639.8	654.6	633.3	647.2	647.5							

4～8月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	66,299	67,028	729
1日平均(人)	625	645	20
診療単価(円)	10,735	11,549	814

2. 吉野病院

2-1.入院患者数

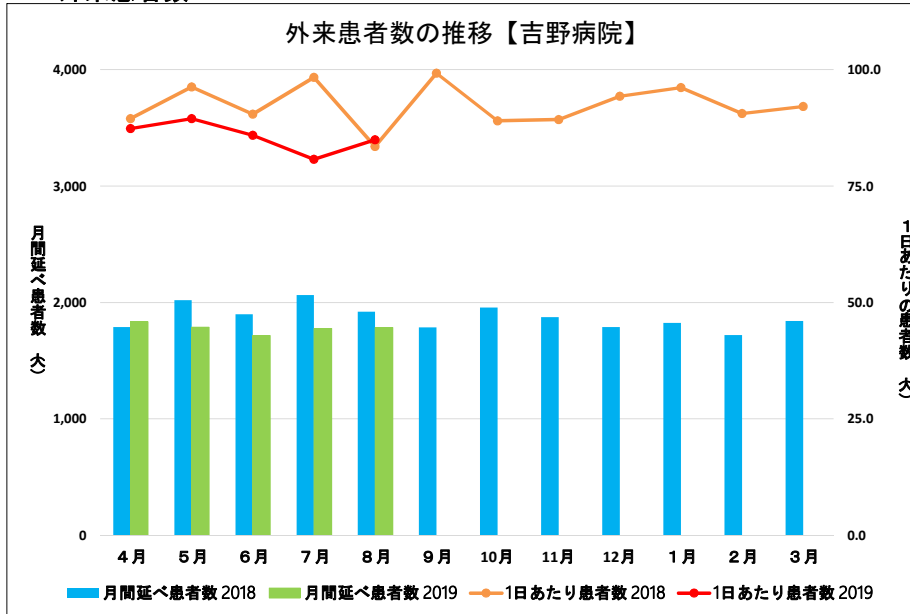


吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 2,529	2,409	2,328	2,297	2,585	2,387	2,538	2,487	2,660	2,784	2,566	2,646
	2019 2,692	2,649	2,576	2,694	2,728							
1日あたり患者数	2018 84.3	77.7	77.6	74.1	83.4	79.6	81.9	82.9	85.8	89.8	91.6	85.4
	2019 89.7	85.5	85.9	86.9	88.0							

4～8月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	12,148	13,339	1,191
病床稼働率(%)	82.7	90.8	8.1
診療単価(円)	20,943	20,690	-253

2-2.外来患者数



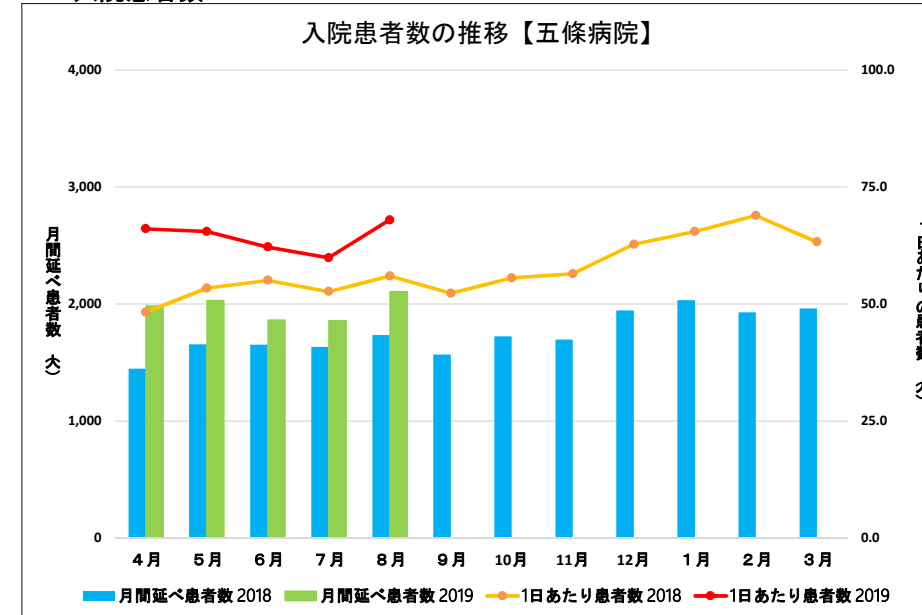
吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 1,790	2,022	1,901	2,066	1,921	1,788	1,959	1,875	1,791	1,827	1,721	1,841
	2019 1,835	1,790	1,717	1,777	1,786							
1日あたり患者数	2018 89.5	96.3	90.5	98.4	83.5	99.3	89.0	89.3	94.3	96.2	90.6	92.1
	2019 87.4	89.5	85.9	80.8	85.0							

4～8月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	9,700	8,905	-795
1日平均(人)	92	86	-6
診療単価(円)	14,399	8,317	-6,082

3. 五條病院

3-1.入院患者数

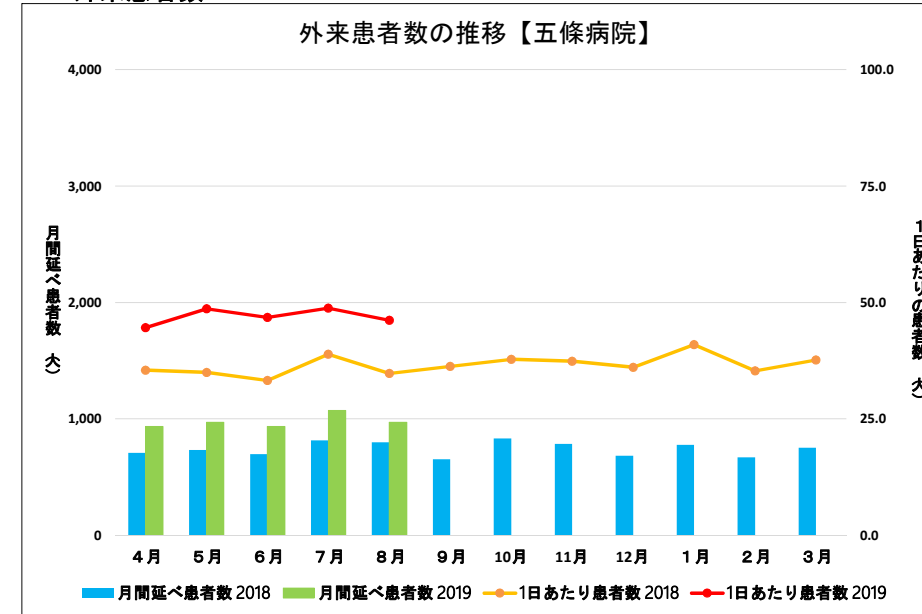


五條病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 1,449	1,656	1,652	1,635	1,736	1,569	1,724	1,696	1,947	2,032	1,928	1,962
	2019 1,983	2,031	1,865	1,858	2,107							
1日あたり患者数	2018 48.3	53.4	55.1	52.7	56.0	52.3	55.6	56.5	62.8	65.5	68.9	63.3
	2019 66.1	65.5	62.2	59.9	68.0							

4～8月の累計比較

	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	8,128	9,844	1,716
病床稼働率(%)	81.7	90.6	8.9
診療単価(円)	18,958	21,297	2,339

3-2.外来患者数



五條病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間延べ患者数	2018 709	735	699	817	800	654	832	785	685	779	670	753
	2019 937	973	935	1,073	971							
1日あたり患者数	2018 35.5	35.0	33.3	38.9	34.8	36.3	37.8	37.4	36.1	41.0	35.3	37.7
	2019 44.6	48.7	46.8	48.8	46.2							

4～8月の累計比較

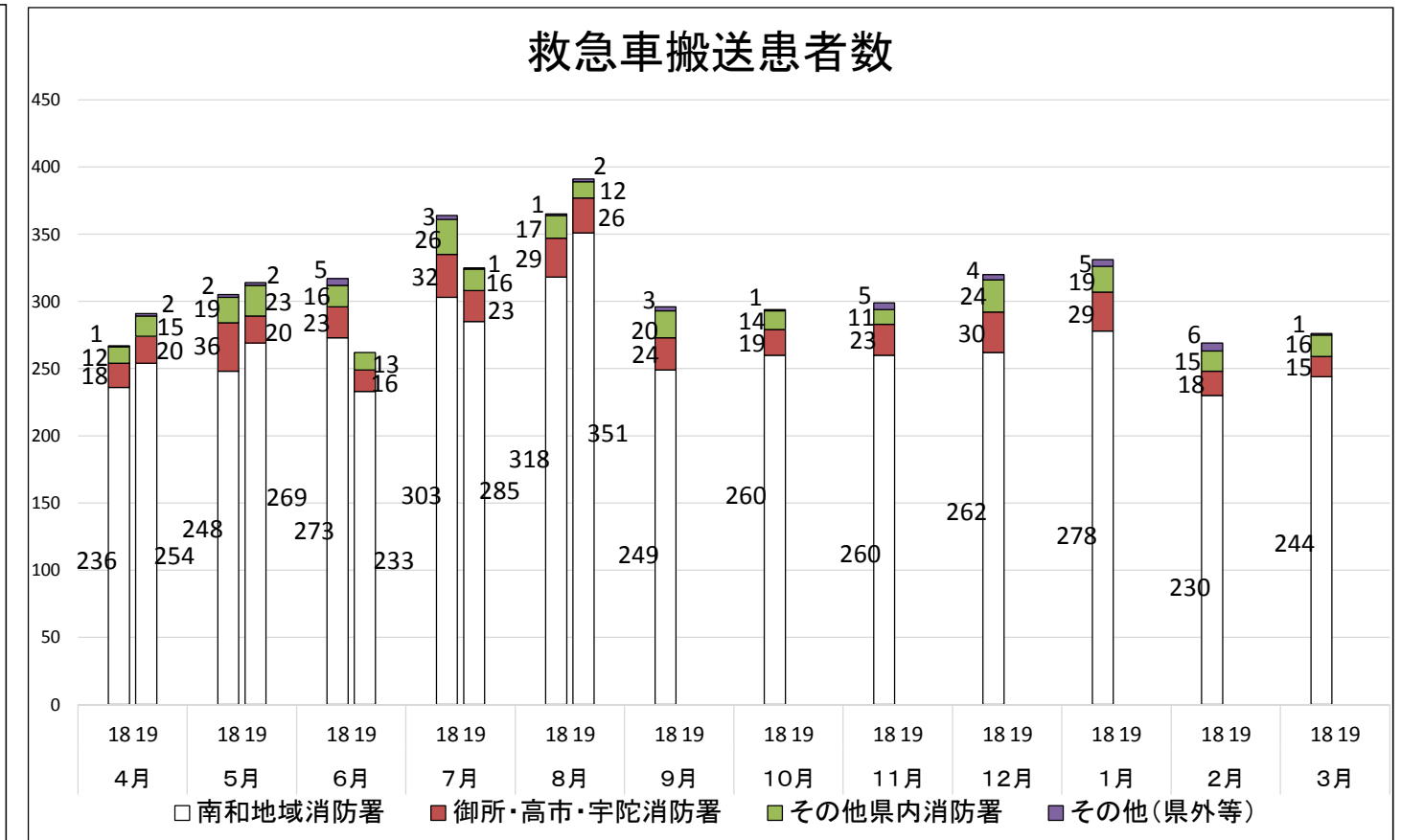
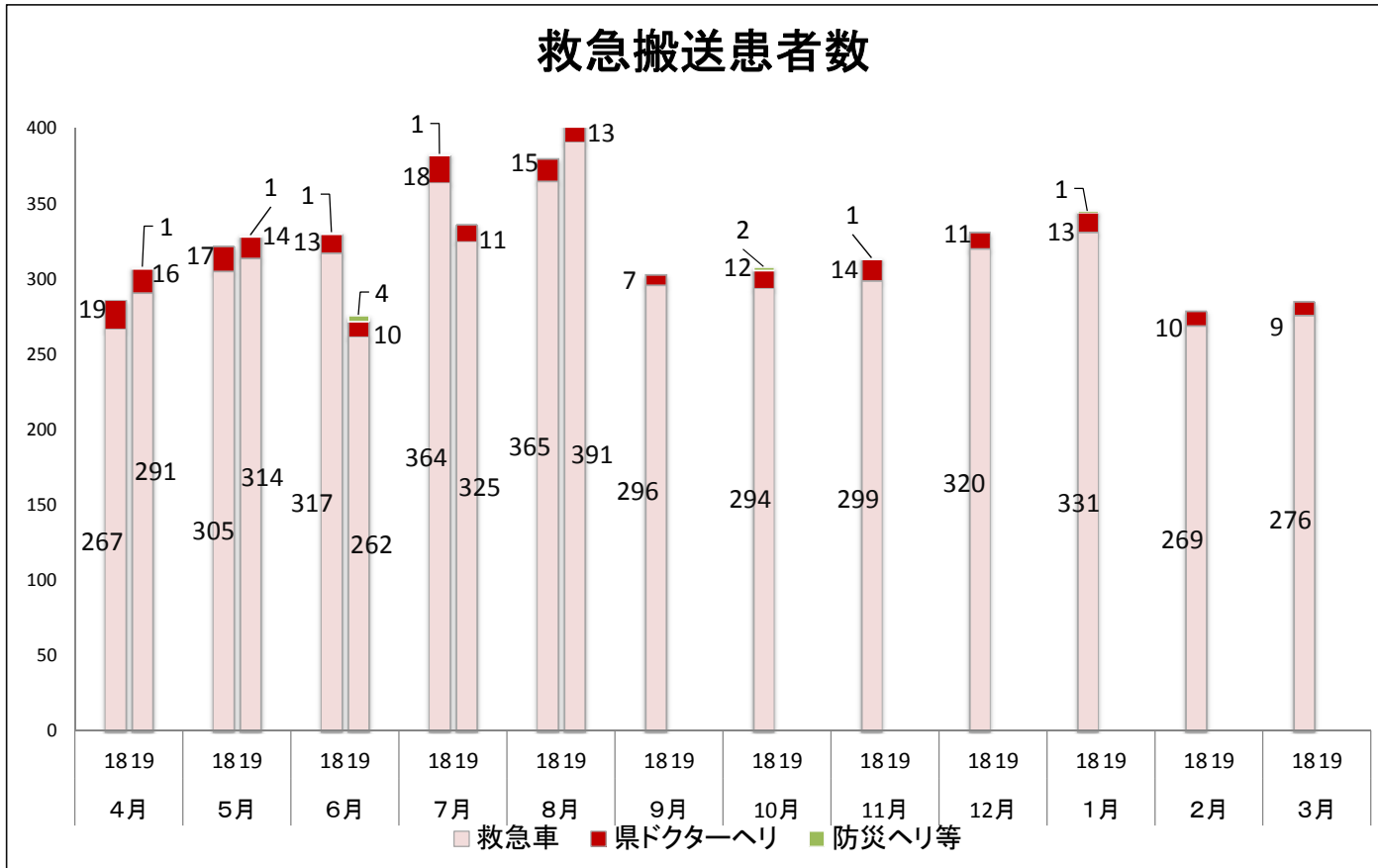
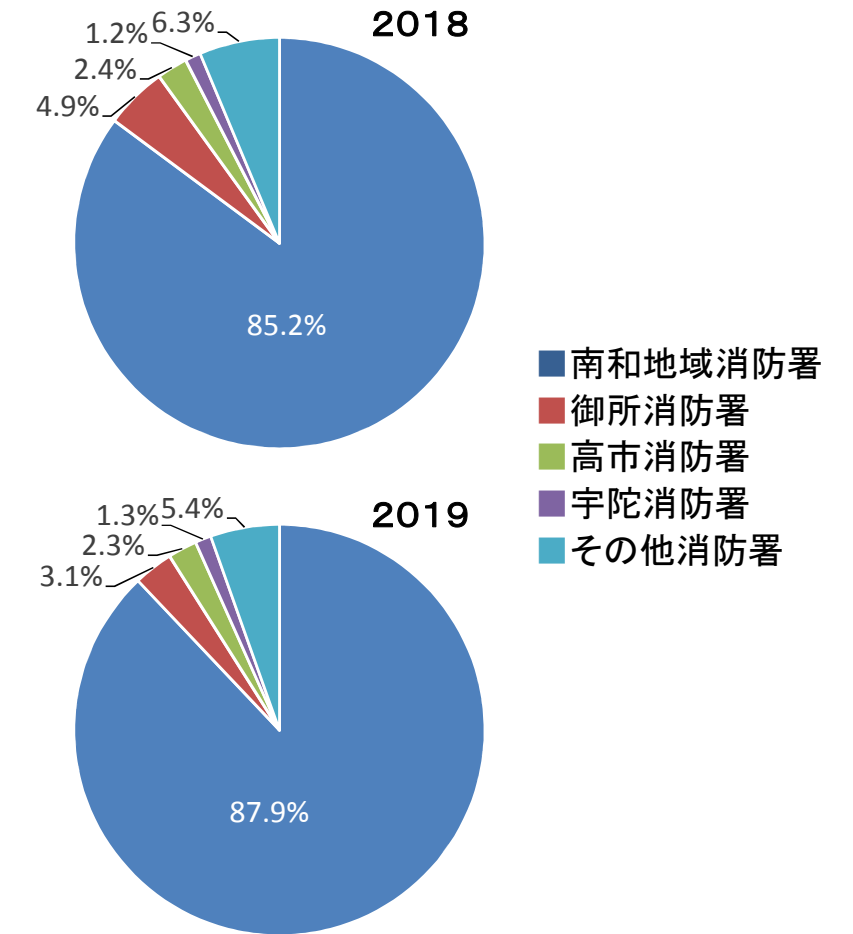
	2018	2019	増減
延べ患者数(人)	3,760	4,889	1,129
1日平均(人)	35	47	12
診療単価(円)	8,875	8,051	-824

# 救急車搬送患者数 令和元年度4月～8月

※奈良県広域消防組合調べ

		累 計 (4～8月)																	
		県広域 消防組合 総搬送数(A)			受 入 れ 医 療 機 関														
					南奈良総合医療センター			奈良医大			橋本市民			その他					
		2018	2019	増減	受入数(B)		収容率(B/A)	救命・ER・外来			橋本市民			その他					
2018	2019	増減	2018	2019	増減	2018	2019	増減	2018	2019	増減	2018	2019	増減					
奈良県広域消防組合	中吉野	大淀署	432	484	52	300	318	18	69.4%	65.7%	49	64	15	3	3	0	80	99	19
		下市署	149	157	8	114	124	10	76.5%	79.0%	6	15	9	2	0	-2	27	18	-9
		黒滝分署	37	34	-3	24	26	2	64.9%	76.5%	7	4	-3	0	0	0	6	4	-2
		天川分署	77	56	-21	49	39	-10	63.6%	69.6%	2	4	2	0	0	0	26	13	-13
	五條	五條署	766	778	12	549	515	-34	71.7%	66.2%	37	68	31	76	92	16	104	103	-1
		大塔分署	36	36	0	20	16	-4	55.6%	44.4%	0	0	0	0	1	1	16	19	3
		十津川分署	84	81	-3	17	28	11	20.2%	34.6%	0	2	2	0	1	1	67	50	-17
		西吉野出張所	67	71	4	45	55	10	67.2%	77.5%	2	2	0	4	2	-2	16	12	-4
	吉野	吉野署	346	335	-11	236	236	0	68.2%	70.4%	17	25	8	0	0	0	93	74	-19
		北山分署	51	58	7	22	32	10	43.1%	55.2%	1	0	-1	0	0	0	28	26	-2
	野迫川	野迫川分署	10	11	1	2	3	1	20.0%	27.3%	0	1	1	4	4	0	4	3	-1
	南和地域 計		2,055	2,101	46	1,378	1,392	14	67.1%	66.3%	121	185	64	89	103	14	467	421	-46
	中和	御所署	713	735	22	79	49	-30	11.1%	6.7%	105	98	-7	7	2	-5	522	586	64
高市署		454	437	-17	39	36	-3	8.6%	8.2%	89	89	0	0	0	0	326	312	-14	
宇陀	宇陀署	890	892	2	20	20	0	2.2%	2.2%	101	90	-11	0	0	0	769	782	13	
その他		15,481	15,532	51	90	79	-11	0.6%	0.5%	1,767	1,649	-118	1	0	-1	13,623	13,804	181	
県消防 合計		19,593	19,697	104	1,606	1,576	-30	8.2%	8.0%	2,183	2,111	-72	97	105	8	15,707	15,905	198	
他消防(県外等)					12	7	-5												
総 計					1,618	1,583	-35												

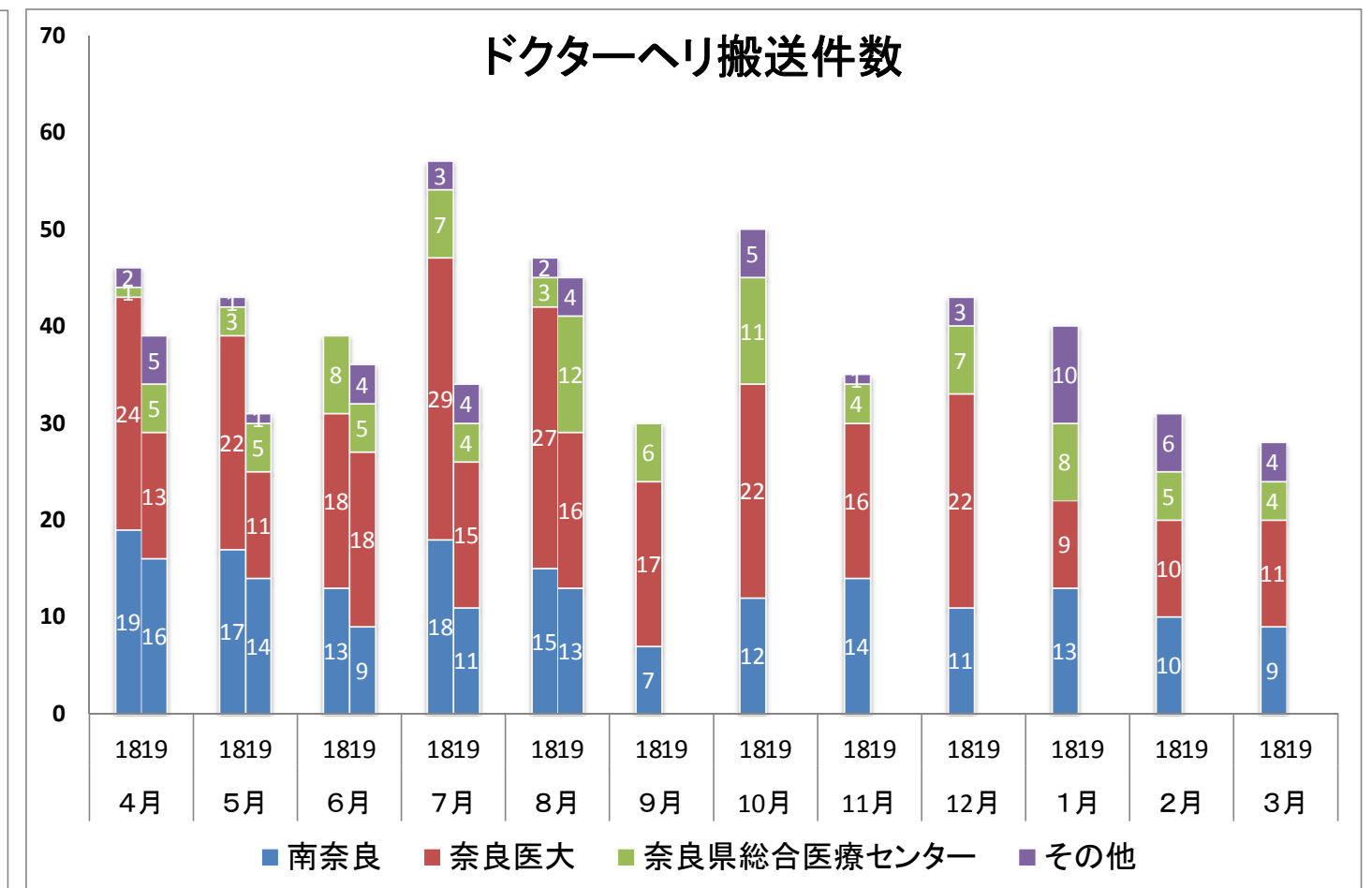
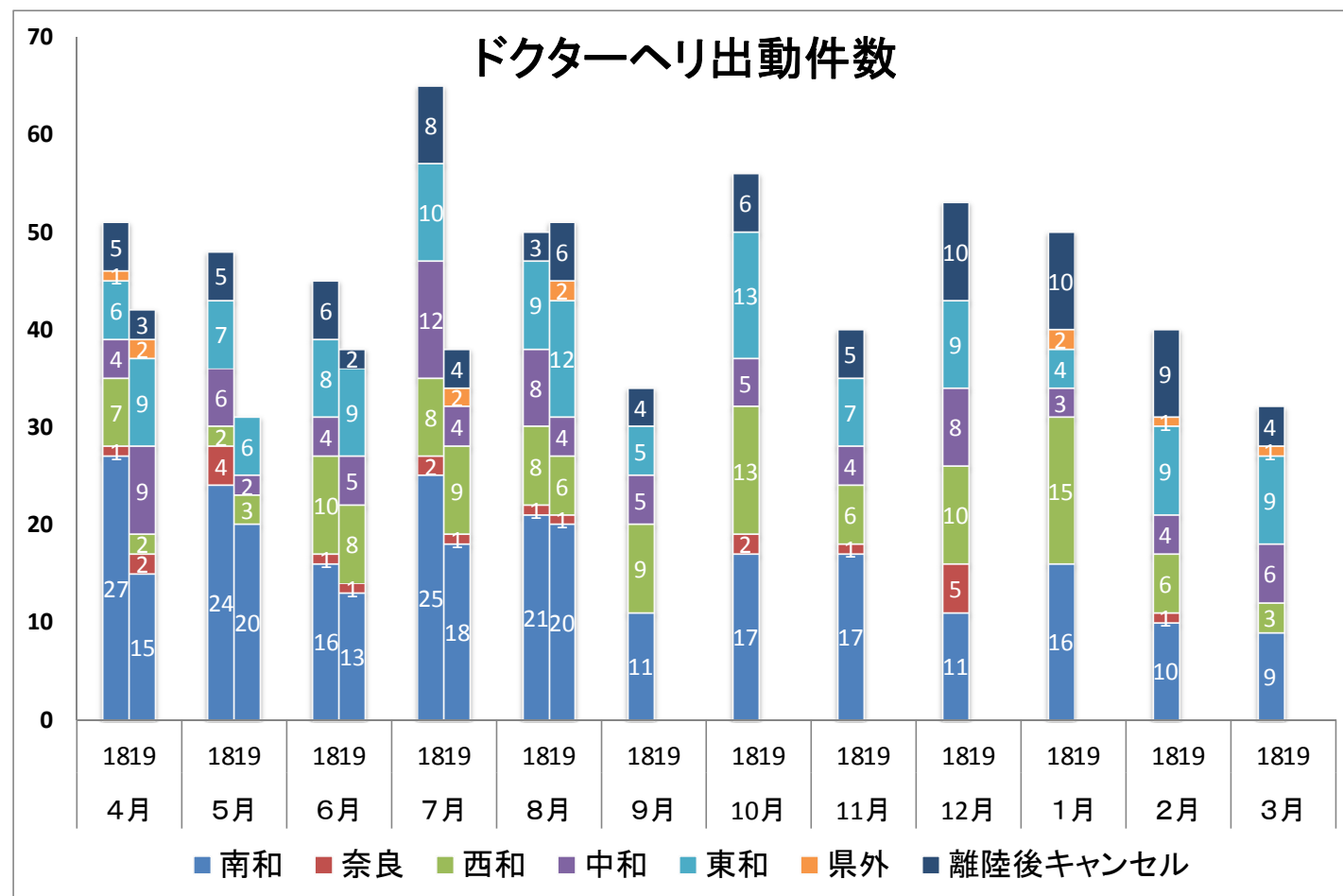
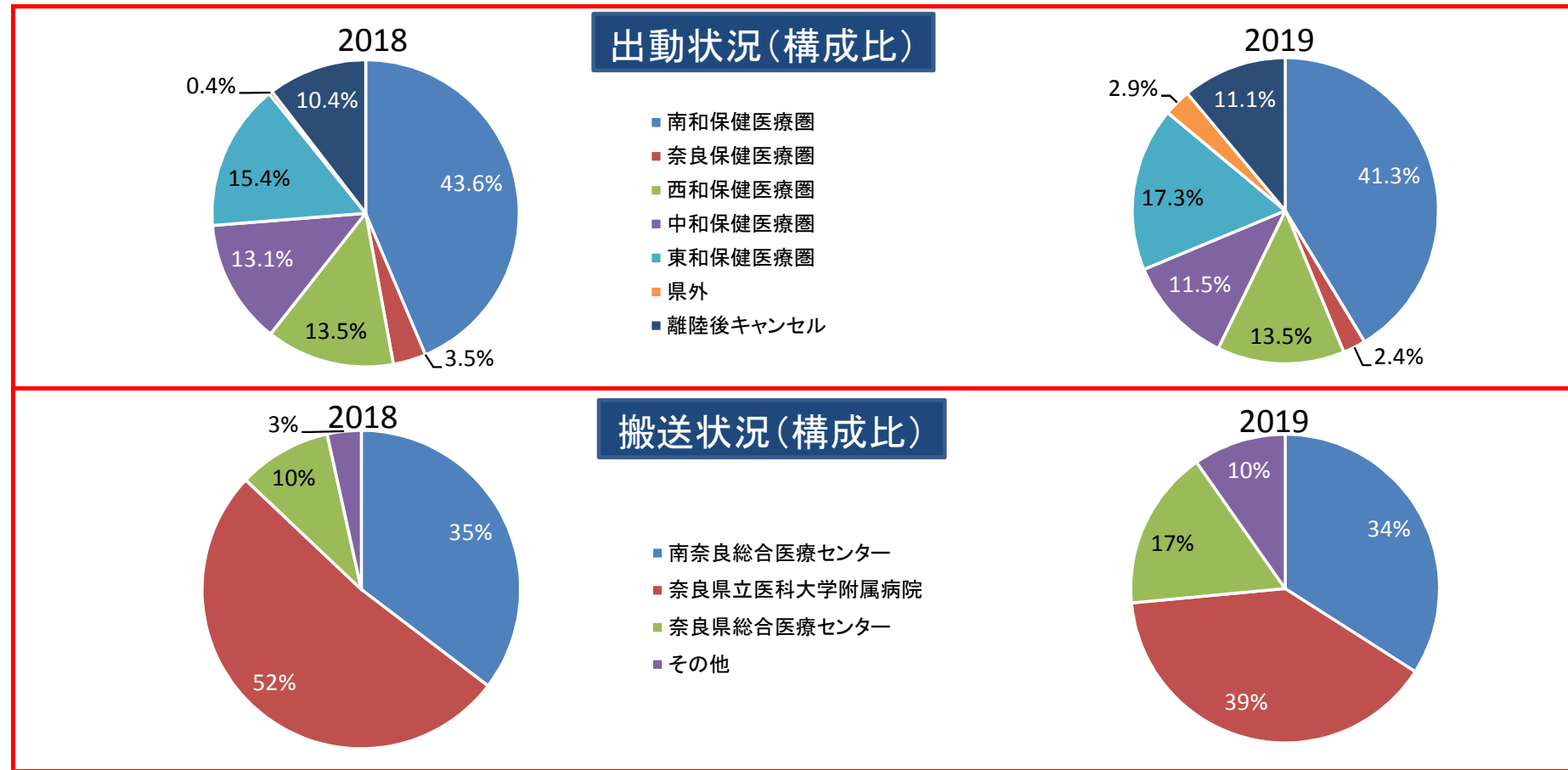
南奈良総合医療センターの受入(構成比)



# ドクターヘリ出動状況 令和元年度4月～8月

出動件数	累計(4～8月)		
	2018	2019	増減
南和保健医療圏	113	86	-27
奈良保健医療圏	9	5	-4
西和保健医療圏	35	28	-7
中和保健医療圏	34	24	-10
東和保健医療圏	40	36	-4
県外	1	6	5
小計	232	185	-47
離陸後キャンセル	27	23	-4
合計	259	208	-51

搬送件数	累計(4～8月)		
	2018	2019	増減
南奈良総合医療センター	82	63	-19
対出動件数(キャンセル除く)	35.3%	34.1%	
南和地域出動受入件数	74	57	
奈良県立医科大学附属病院	120	73	-47
奈良県総合医療センター	22	31	9
その他	8	18	10
合計	232	185	-47



### 1 経営の安定化

#### ①純損益赤字の解消

- ◆ 純損益赤字8千1百万円を解消するため、企業団全職員が常に経営状況を把握し、経営に関する意識を高め、病院経営に取り組む

#### ②収益の確保

##### <南奈良総合医療センター>

- ◆ 平均在院日数の短縮(13.0日以内)
  - 入院前から患者支援を行い、早期に退院・転院調整を図る
    - ・ 吉野、五條病院への転院促進
    - ・ 地域の医療機関等との連携強化
- ◆ 新入院患者の確保
  - 病診連携の強化、専門診療の情報発信の充実などによる紹介患者(予定入院)の増加を図る
- ◆ 手術室の効率的な運用による手術件数の増加

##### <吉野・五條病院>

- ◆ 病床稼働率の向上
  - 南奈良総合医療センターからの受入促進
  - 介護施設等との連携による施設からの入院患者の増加
- ◆ 外来患者の確保
  - 皮膚科外来診療の開始(五條病院)
  - 南奈良総合医療センター及び近隣医療機関との連携強化

#### ③費用の適正化

##### <働き方改革の推進>

- ◆ 院内におけるサポート体制の充実(医師事務作業補助等)

##### <コスト削減に向けた業務改善チームの設置>

- ◆ 業務内容の精査による経費の削減
- ◆ タスク・シフティング(業務の移管)やタスク・シェアリング(業務の共同化)などの取組を推進

### 2 専門診療の充実

#### <南奈良総合医療センター>

- ◆ 救急患者の受入
  - 夜間帯での救急ベッドの確保と看護スタッフの充実等による救急患者受入体制の強化
  - 院内トリアージの強化
- ◆ がん診療
  - 肺がん、消化器がん(胃、大腸、肝臓、膵臓)、前立腺がん診療の強化、婦人科領域(乳がん、子宮がん)のがん診療の充実
    - ・ 外来化学療法法の拡大
    - ・ がん検診における女性スタッフの対応
  - がん患者及びその家族に対するがん相談のためのスタッフの充実
- ◆ 認知症ケアの充実
  - もの忘れ・認知症外来の充実や病棟ラウンドなど
- ◆ 糖尿病などの生活習慣病診療の充実
  - 糖尿病性腎症重症化予防対策の推進
  - 糖尿病内科受診外来患者を対象として診察待ち時間を利用したフットチェックの実施
  - 糖尿病・CKD(慢性腎臓病)・高血圧チームによるチーム回診を実施
- ◆ 腎・尿路疾患センターの機能強化
  - 透析患者の確保に向け、病診連携を強化
- ◆ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)対策の推進
  - 骨や筋肉、関節などの運動器の疾患患者に対して、リハビリテーション部と共同して、外来でロコモリハビリを開始
- ◆ 栄養サポートチーム
  - 早期退院、再入院の抑制に向けた栄養サポートの充実
    - ・ 入院前から退院後まで切れ目のなく栄養療法が行えるよう適切にチーム医療を実践
- ◆ 循環器サポートチーム
  - 心不全悪化を早期に発見し、早期受診につなげるシステム「心不全シグナル」を導入し、心不全患者をサポート
- ◆ 脳卒中の対応強化
  - 一次脳卒中センターの開設を見据えた脳卒中の対応を強化

#### <吉野病院>

- ◆ 入院患者の嚥下障害のリハビリテーションの強化

#### <五條病院>

- ◆ 緩和ケアの推進
- ◆ 在宅療養、難病患者などのレスパイト入院の促進

### 3 患者サービスの充実

#### <患者対応>

- ◆ 患者相談支援窓口の充実
  - スタッフが常駐して相談対応
    - ・入院前からの患者支援、各種相談の対応
- ◆ がん相談におけるスタッフの充実
- ◆ 検査予約待ち日数の短縮
  - MRI検査の待ち日数短縮
  - 検査業務の体制見直しによる脳波検査の待ち日数短縮
- ◆ 接遇の向上
  - 全職員を対象にホスピタリティー研修を実施
- ◆ 院内案内サインの充実
  - 診察場所へのわかりやすい誘導及び表示方法を適宜検討し、改善

#### <健康診断の充実>

- ◆ 人間ドックの充実
  - 検査実施体制の見直しの検討
- ◆ 女性対象の検診
  - マンモグラフィ等検査における女性スタッフによる検診の実施
- ◆ 脳ドックにおける検査項目の充実
  - 認知症検査の追加
  - MRI画像を使って脳の萎縮度を見る検査(早期アルツハイマー型認知症診断支援が可能)の追加

#### <健康に関する情報発信>

- ◆ 健康フェスティバル2019の開催(11月10日開催予定)
- ◆ 健康出前講座等への職員派遣

### 4 人材の育成

#### <研修医等の受入>

- ◆ 研修医等の受入
  - 南和まるごと研修の開始
    - ・南和地域の特性を活かして、急性期から回復期、慢性期、在宅・地域包括ケアシステムに至るまで一貫して経験できるフィールドを提供し、全部門職員が一丸となってサポート
  - 受入予定
    - 臨床研修 4名(基幹型 2名 協力型 2名)
    - 専門医研修 6名(基幹型 1名 協力型 5名)、医学生の実習

#### <在宅医療を担う看護師の育成>

- ◆ 訪問看護の充実・強化に向けて訪問看護師を育成
  - 専門資格の取得、外部研修
- ◆ へき地医療支援看護師の配置に向けた看護師育成の検討

#### <病院マネジメント研修の実施>

- ◆ 幹部職員及び将来を担う中堅職員を対象としたマネジメント研修を実施

#### <地域人材の育成>

- ◆ 地域の訪問看護師、保健師、コミュニティナース、ケアマネジャー等を対象に在宅医療等に関する研修の実施
- ◆ 大淀高校との連携
  - インターシップの受入、大淀高校への出前授業
  - 大淀高校生の健康フェスティバルへの参加など

#### <看護専門学校における人材の育成>

- ◆ 看護専門学校におけるへき地教育の充実
- ◆ 南和地域の医療に貢献する意欲のある者を対象に、学校長推薦地域枠入学試験を創設

## 5 在宅医療の充実

### 『南和地域における地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護連携の推進』

南和地域において、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、企業団、構成団体及び県が連携し、南和地域に相応しい地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療・介護連携の取り組みを推進

#### 令和元年度からの企業団の取組

##### 訪問看護の充実・強化

###### 24時間365日対応できる訪問看護ステーションの設置

- ◇ 24時間365日対応のための体制、開設時の管轄範囲の検討
- ◇ 体制、設置場所の整備
- ◇ 運用財源の検討、確保
- ◇ 開設申請手続き
- ◇ 南和地域がカバーできる訪問看護体制の検討
- ◇ より質の高い訪問看護を提供する機能強化型訪問看護ステーションへの移行検討、準備

###### 地域の訪問看護ステーションとの連携、支援による訪問看護の充実

- ◇ 地域の病院・診療所、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等との相互連携体制の検討、体制構築
- ◇ 地域の医療機関や訪問看護ステーション等を対象とした研修会の実施
- ◇ 地域の訪問看護ステーション等に対する訪問看護に関する情報提供や相談の実施

###### 訪問看護師、ケアマネジャーの育成

- ◇ 訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師等、専門看護師資格の取得の支援
- ◇ 訪問看護ステーションでの実務研修(3名)等、外部研修の実施

##### 在宅医療の支援強化

###### 在宅療養支援病院の機能強化

- ◇ 在宅医療の充実に向け、訪問診療を拡大

###### へき地診療所の機能強化

- ◇ へき地診療所による訪問診療、訪問看護等の診療機能の強化
- ◇ 巡回等により専門医による定期的な医療提供ができる体制の検討
- ◇ ICTの活用などによるへき地診療所医師、看護師に対する支援の強化

###### へき地医療支援看護師の配置

- ◇ へき地診療所に勤務する看護師が不在となった場合における看護師派遣システムの構築

###### 地域の医療・介護人材との連携

- ◇ 地域の保健師、ケアマネジャー、行政職員、コミュニティナースと連携した日常生活支援体制の検討

##### 地域人材の育成(医療・介護連携)

###### 地域の訪問看護師、保健師、コミュニティナース、ケアマネジャー等の人材育成

- ◇ 在宅医療等の研修会の実施
- ◇ 顔の見える関係づくりの強化
- ◇ 医療面でのサポートを通して、地域の訪問看護師、コミュニティナース、ケアマネジャー等が相互に協力できるネットワークづくり

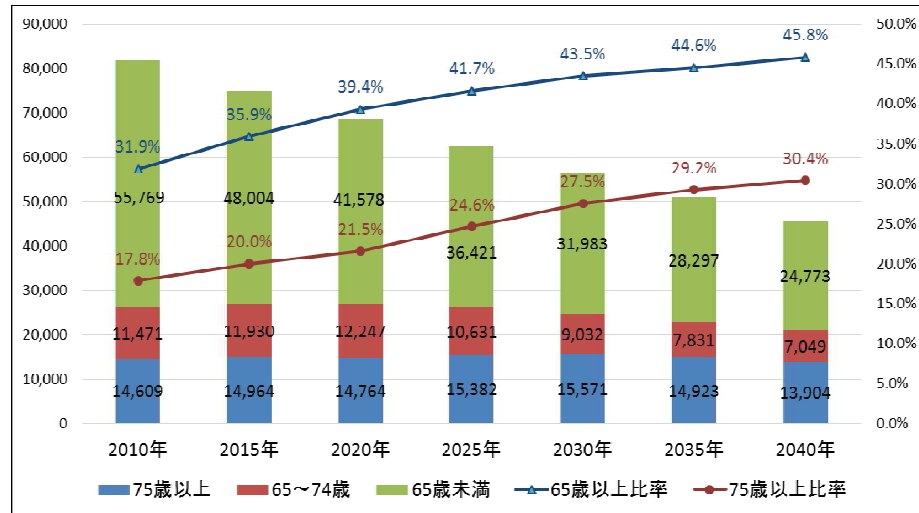


医療従事者が働きやすい環境を整え、専門職の集団としての働きがいを高めるよう、勤務環境を改善させる取組が不可欠  
これにより、医療従事者を惹きつけられる医療機関となるだけでなく、「医療の質」が向上し、患者の満足度も向上

		これまでの取り組み	今後の取り組み
組織全体の取組	意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各部門それぞれが議論のうえ自ら目標を設定し、それを全職員が共有し、目標達成に向けて取り組む(H28～)</li> <li>◆働き方改革推進委員会を立ち上げ企業団全体で推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、看護師、コメディカルそれぞれの働き方改革部会を設置し、取り組みを推進(H30～)</li> </ul> </li> <li>◆職員表彰と意見交換会の開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張っている職員表彰(H29～)</li> <li>・全職員参加の意見交換会(R2.1～)</li> </ul> </li> <li>◆業務改善チームの活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識向上・業務効率化の取り組み(R1.9～)</li> <li>・経営安定化の取り組み(R1.9～)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆内容が重複する院内会議の統廃合、開催時間等の見直し                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度、稼働状況等の観点から検討し、メンバーを精査</li> <li>・ワークライフバランスの観点から開催時刻及び所要時間等運営ルールを検討</li> </ul> </li> <li>◆出退勤システム導入で職員の時間管理に対する意識付け</li> </ul>
	人事の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師、医療職を中心に3病院で一体的な人事運用(H28～)</li> </ul>	
医療従事者への支援強化	業務効率化による長時間労働の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆薬剤師、栄養士等多職種によるチーム医療の推進(H28～)</li> <li>◆訪問診療や救急の専門診断時のタブレット等ICT活用(H28～)</li> <li>◆3病院間のテレビ会議導入(H29～)</li> <li>◆へき地診療所とICTを活用したカルテ情報の共有(H29～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師事務作業補助者の組織化とリーダー養成</li> <li>◆看護補助業務の役割の明確化と支援</li> <li>◆患者・家族等との面談時間の見直し</li> </ul>
	宿日直の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師の休日の日直・宿直連続勤務の原則禁止(H30～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師の宿直後の勤務間インターバルを検討</li> </ul>
	女性医師への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆出産・育児等の医師に対する診療科での勤務への配慮(H28～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆出産・育児・介護等ライフイベント相談窓口の設置</li> </ul>
	職員へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆院内保育所の夜間保育の導入(H28～)</li> <li>◆臨床研修医に係る研修メニューの充実と中堅職員に対するマネジメント研修の実施(H30～)</li> <li>◆職員住宅の設置(H30～)</li> <li>◆健康管理室の充実(H31～)</li> <li>◆パワハラ・セクハラ等相談窓口の設置(H28～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外部研修参加者等のキャリアアップ支援の充実</li> <li>◆看護師業務拡大を目指した特定行為研修の推進</li> <li>◆(再掲)出産・育児・介護等ライフイベント相談窓口の設置</li> <li>◆職員のメンタルヘルスケアのため心理カウンセラー配置</li> <li>◆パワハラ・セクハラ等相談支援体制の強化と窓口の充実</li> </ul>

### 南和地域における在宅医療の現状

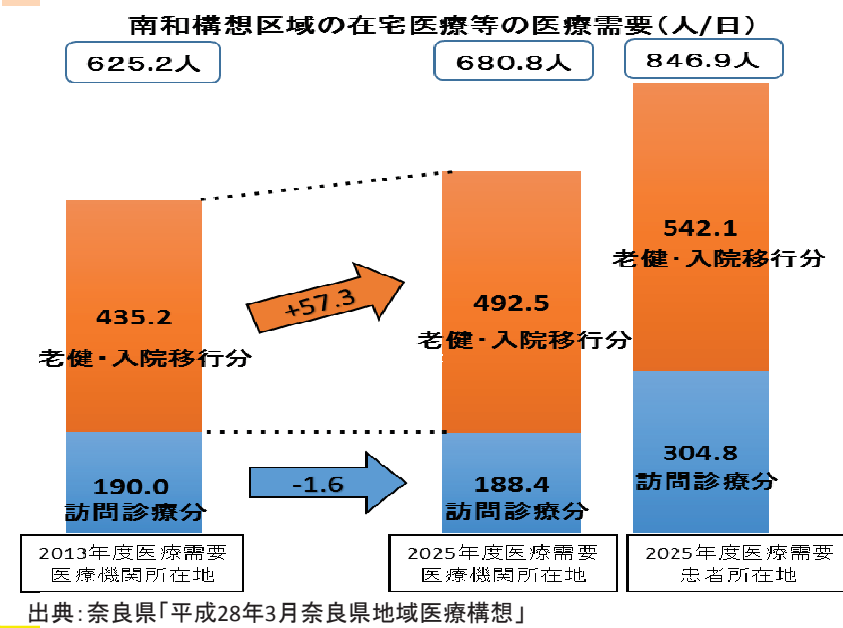
#### 1 南和保健医療圏の人口推移



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「平成25年3月日本の地域別将来推計人口」

◆南和医療圏は高齢化が進み、人口減少のスピードも速い。  
◆2025年には、2010年に比べて人口が約24%減少し、65歳以上の人口割合は約42%となる。

#### 2 南和保健医療圏の在宅医療等の医療需要



◆奈良県医療構想によると、2025年には、在宅医療等の需要は大幅に増加(県全体で2013年度の約53%増)することが見込まれている。  
◆南和保健医療圏の訪問診療では、2025年の患者所在地別で見ると約60%増と見込まれている。

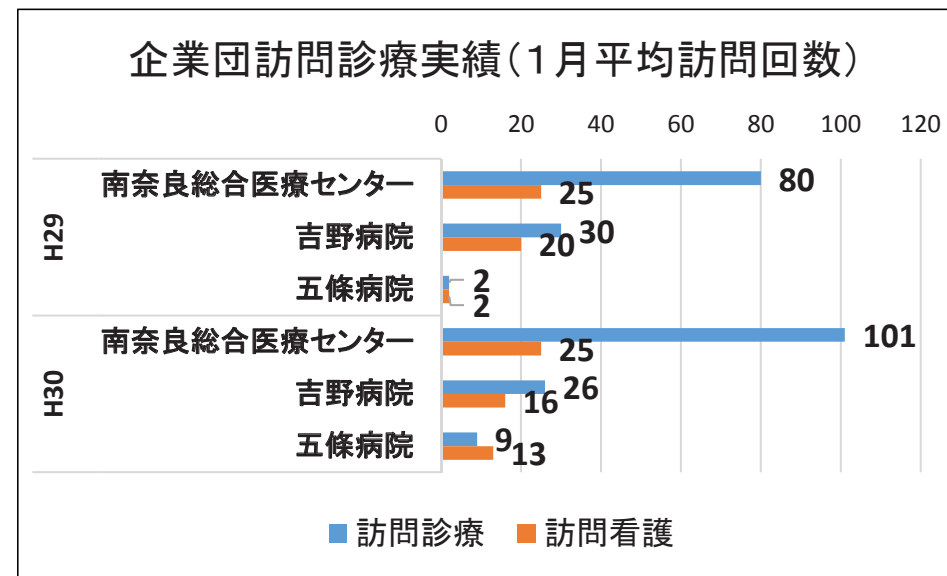
### 南和地域における在宅医療の課題

- 訪問看護ステーションは市町部のみに偏在、村部には皆無。
- 市町部の訪問看護ステーションの規模は小規模。また、休日・夜間はほとんど対応不可。
- 訪問診療は企業団3病院で実施しているが、距離的・時間的限界のため市町部中心。
- 市町部の診療所は、医師が土日・夜間不在が多く、また高齢化し後継者も不足。
- 村部での訪問診療は村立診療所が中心であるが、医師1名、看護師2名程度の体制のため実施件数が極めて少なく、また夜間・休日等は対応不可。
- 村立診療所では、内科が中心。他の診療科は、月に数回整形外科の診察のみ。

#### 3 南和地域における訪問看護の状況

- ◆南和地域の訪問看護ステーション数 8事業所  
五條市 3、吉野町 2、大淀町2、下市町 1  
(奈良県全体 143事業所) (H30. 4. 1現在)
- ◆南和地域の訪問看護ステーションの規模 平均従業者数 4.38人  
(奈良県平均 4.51人) (常勤換算、H29)
- ◆村部へき地診療所では看護師が2名程度で、訪問看護を実施する体制が不十分。また、恒常的に看護師の確保が困難。(R1.7~9 へき地診療所所在の村長等から聴き取り)

#### 4 南和地域における訪問診療の状況



◆企業団3病院で1ヶ月平均136件の訪問診療を実施(H30年度)。  
◆訪問範囲は、南奈良総合医療センターを中心とした半径16kmの円内にとどまる。

#### 村部における訪問診療実績(8村立診療所)

◆のべ往診・訪問診療件数(H29年度実績) 年間 339件  
1診療所あたり1ヶ月平均 3.5件

- ◎南和地域における在宅医療の強化のためには、
  - 訪問看護の充実・強化
  - 地域の在宅医療を支えるへき地診療所の体制支援等、在宅医療の支援強化
 が重要課題
- ◎さらに地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療と介護の連携の強化のため医療面からの支援が必要

⇒南和広域医療企業団(在宅医療支援センター、へき地医療支援センター)を南和地域の在宅医療の拠点として整備し取組を推進

# 南和広域医療企業団の在宅医療推進の取組

## 訪問看護の充実・強化

取組	南和地域をカバーできる訪問看護体制の構築と機能強化型訪問看護ステーションの設置	令和元～2年度	令和3年度～
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆令和2年度下半期に企業団に訪問看護ステーションを開設                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業団訪問看護ステーションに勤務する看護師の育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団看護師の訪問看護ステーションでの実地研修を実施</li> <li>・24時間365日対応のみなし訪問看護を開始</li> </ul> </li> <li>○企業団訪問看護ステーションに勤務するケアマネジャーの育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に対するケアマネジャー研修の実施</li> </ul> </li> <li>○企業団訪問看護ステーション施設、設備の整備、開設に向けた支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・執務場所、車両等機材の確保、開設のための専門家による助言等</li> </ul> </li> <li>○企業団訪問看護ステーション看護師のスキルアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護師の小児、精神等専門分野の研修やスキルアップ研修の実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◆南和地域がカバーできる訪問看護体制の検討、機能強化型訪問看護ステーションへの移行検討、準備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○南和地域全体に効果的な訪問看護を実施するための体制の検討</li> <li>○機能強化型訪問看護ステーションへの移行検討とともに体制等の準備</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企業団訪問看護ステーションによる質の高い訪問看護の提供                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業団訪問看護ステーションに勤務する看護師の継続的な育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団看護師の訪問看護師人材育成研修を継続実施</li> </ul> </li> <li>○企業団訪問看護ステーション看護師の継続的なスキルアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護師の小児、精神等専門分野の研修やスキルアップ研修を継続実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◆南和地域がカバーできる訪問看護体制の構築と機能強化型訪問看護ステーションへの移行</li> </ul>

取組	市町村と連携した広域での訪問看護を核とした在宅支援体制の強化	令和元～2年度	令和3年度～
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の医療機関や訪問看護ステーションとの連携、支援による訪問看護の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の診療所、訪問看護ステーション等の看護師、ケアマネジャーとの連携、支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護研修、顔の見える関係づくりのための情報交換、意見交換会の実施</li> <li>・南和地域における広域での訪問看護の実施に向けた相互連携体制構築のための医療機関、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等による協議会の設置、運営</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆南和地域において広域に訪問看護を提供するための体制整備と運用開始                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○協議会での検討を通じて具体的な体制を構築、運用を開始                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、意見交換会の継続実施</li> <li>・協議会の継続運営</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 在宅医療の支援強化、在宅医療と介護の連携強化

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村と連携したへき地診療所への支援強化</li> <li>・へき地診療所における看護体制強化のための支援</li> <li>・医療面のサポートを通じた地域との連携の強化</li> </ul>	令和元～2年度	令和3年度～
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆へき地診療所における訪問看護機能の支援・強化、看護師応援システムの検討                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○へき地診療所勤務の看護師に対する企業団医師、看護師等との定期的な意見交換、研修の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地診療所看護体制等の現地調査を実施</li> <li>・へき地診療所看護師と企業団との意見交換会の開催</li> <li>・へき地診療所看護師に対する訪問看護等に関する研修の実施</li> </ul> </li> <li>○企業団からへき地診療所に看護師を派遣するための研修の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団看護師のへき地診療所実地研修の実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◆へき地診療所における体制支援強化の検討                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○より効果的なへき地巡回診療の検討</li> </ul> </li> <li>◆地域との連携の強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療からの地域の介護、生活支援への積極的な連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団医療職員が積極的に関わる地域ケア会議の開催</li> <li>・地域の介護職員、ケアマネジャー等に対する企業団職員による医療分野の研修の実施</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆へき地診療所への看護師応援システムの構築、運用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○へき地診療所勤務の看護師に対する定期的な意見交換、研修の継続実施</li> <li>○企業団看護師のへき地診療所実地研修の継続実施</li> <li>○へき地診療所看護師が不在の場合の企業団看護師派遣システムの構築と運用</li> </ul> </li> <li>◆県と連携し、南和地域をモデルとした県全体のへき地診療所への看護師応援システムの構築(令和2年度から検討)</li> <li>◆医療面のサポートを通じた地域の医療・介護関係者が協力できるネットワークの構築(令和2年度から検討)</li> </ul>